



学会ニュース

NO.2

後期講演会

今回は、新型コロナウイルス感染症の影響で Zoom での開催となりました。

日にち：10月21日

テーマ：新時代だからこそ社会が学生に求めること

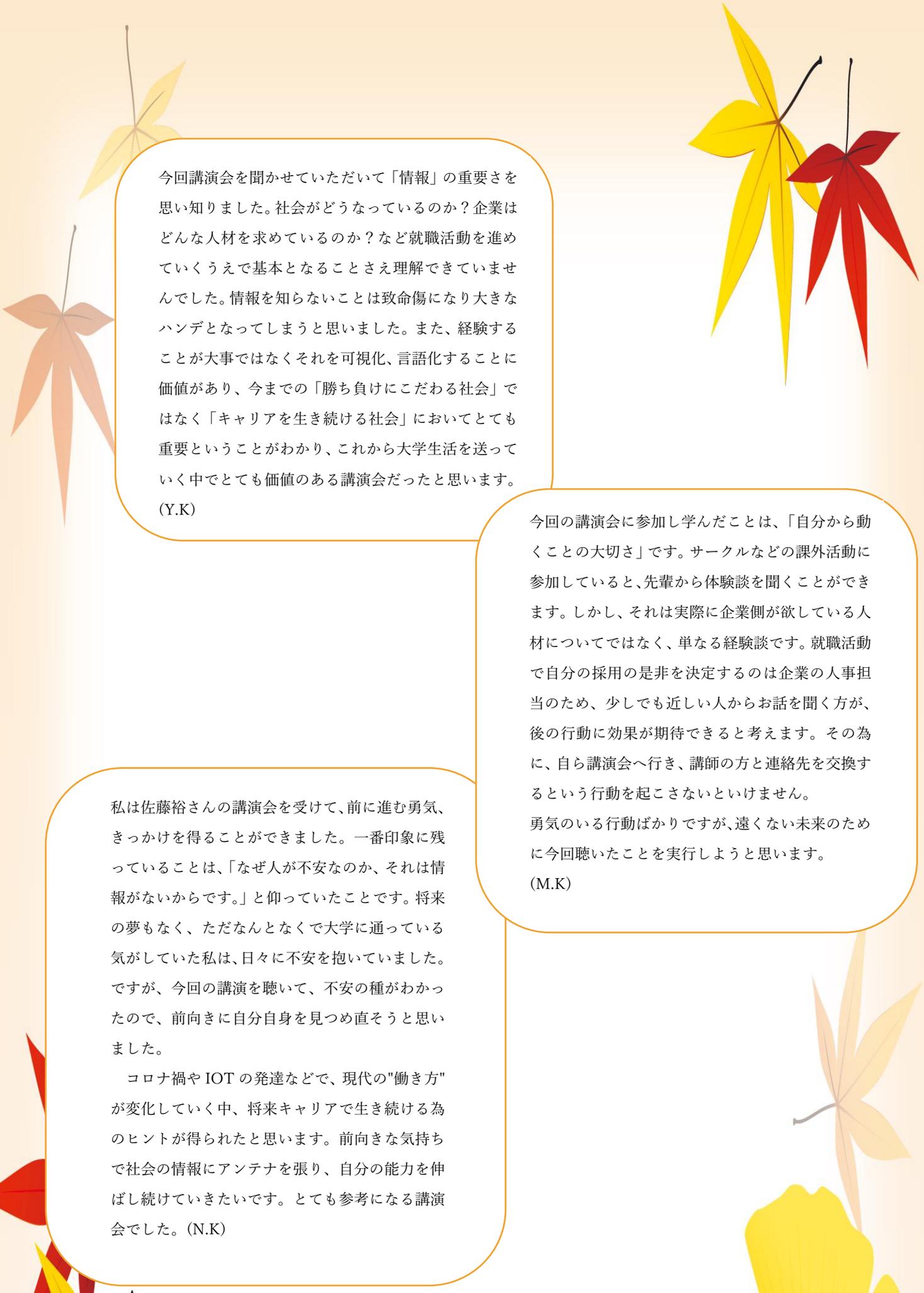
講師：佐藤 裕 様（パーソルキャリア株式会社）

プロフィール：1979年生まれで横浜出身です。PERSOL グループ新卒採用統括責任者を務める傍ら、全国の大学で年間200回近くの講座・講演を行い、これまでに15万人以上の大学生に対してキャリア教育・就活支援の活動を行っています。活動範囲は海外にも及んでおり、2019年3月にはハーバード大学の特別講師を務めた。テレビやラジオにも出演しており、幅広く活躍しています。

講演要旨：就活市場が5年前から大きく変わっているなかで、新型コロナウイルスの感染拡大が生まれました。その結果、大学生の皆さんがこれまで認識していたような市場は消滅して、新状況・新時代に対応した就職市場が現れており、そこでは、大学生に求められる能力や資質も大きく変わってきています。「売り手市場」から「買い手市場」への切り替えが求められる学生生活を可視化して、大学生の皆さんの意識を変革します!!

~感想~

今回の講演会を聞いて、最新の状況とこれまで聞いてきた就職活動の進め方等の違いが大きいことに驚きました。例えば、これまでの面接では何か目立つ経験を話すことが重要だと聞いてきましたが、現在はその経験のみでは評価されず、そこから得た「価値観や考え方」を持つことが重要であるということです。その為、これからの生活で、アルバイトに行くときや大学で勉強をするときなど、様々な場面で周りの人と一緒に「ここでは何を達成することが出来るのか」ということを考えながら生活しようと強く感じました。また、講演会などで学びや刺激を受けた後は、聞いただけでなくそれらを振り返った上で、次にどのような行動を取るべきかを考えて、今後活かしていきたいと思います。(K.Y)



今回講演会を聞かせていただいて「情報」の重要さを思い知りました。社会がどうなっているのか？企業はどんな人材を求めているのか？など就職活動を進めていくうえで基本となることさえ理解できていませんでした。情報を知らないことは致命傷になり大きなハンデとなってしまったと思います。また、経験することが大事ではなくそれを可視化、言語化することに価値があり、今までの「勝ち負けにこだわる社会」ではなく「キャリアを生き続ける社会」においてとても重要ということがわかり、これから大学生活を送っていく中でとても価値のある講演会だったと思います。

(Y.K)

今回の講演会に参加し学んだことは、「自分から動くことの大切さ」です。サークルなどの課外活動に参加していると、先輩から体験談を聞くことができます。しかし、それは実際に企業側が欲している人材についてではなく、単なる経験談です。就職活動で自分の採用の是非を決定するのは企業の人事担当のため、少しでも近い人からお話を聞く方が、後の行動に効果が期待できると考えます。その為に、自ら講演会へ行き、講師の方と連絡先を交換するという行動を起こさないといけません。

勇気のいる行動ばかりですが、遠くない未来のために今回聴いたことを実行しようと思います。

(M.K)

私は佐藤裕さんの講演会を受けて、前に進む勇気、きっかけを得ることができました。一番印象に残っていることは、「なぜ人が不安なのか、それは情報がないからです。」と仰っていたことです。将来の夢もなく、ただなんとなくで大学に通っている気がしていた私は、日々に不安を抱いていました。ですが、今回の講演を聴いて、不安の種がわかったので、前向きに自分自身を見つめ直そうと思いました。

コロナ禍やIOTの発達などで、現代の"働き方"が変化していく中、将来キャリアで生き続ける為のヒントが得られたと思います。前向きな気持ちで社会の情報にアンテナを張り、自分の能力を伸ばし続けていきたいです。とても参考になる講演会でした。(N.K)